

第2回パネル展と講演会

731部隊

戦前・戦後の医学

— 医学と人権を考える —

パネル展入場無料



731 部隊口号棟特設監獄

- ・ 原爆調査・原発
- ・ ハンセン病
- ・ 強制不妊手術
- ・ イタイイタイ病
- ・ 水俣病
- ・ 薬害エイズ・ etc.

11月14日(日)～11月19日(金) 10:00～18:00

※14日は13:00～ 19日は16:00まで

於 パネル展:アミダステーション1・2階(裏面参照)

於 講演会:クリエイトホール(裏面参照)

主催:八王子731部隊展実行委員会

後援:日中友好協会八王子支部

八王子平和強化月間参加企画

問い合わせ 080-4407-9554(五井信治)

マスク着用をお願いします

パネル展・講演会

「731 部隊 戦前・戦後の医学」

パネル展

—医学と人権を考える—

日本は、1930年代、中国東北地方の平房に細菌戦部隊を創設し、人体実験を通して、毒力の強い細菌兵器を開発し、国際法を無視して、その細菌兵器を、寧波、常德などの都市に撒いて、細菌戦を行いました。

日本政府は、原爆投下直後、科学者を被爆地に派遣して、原爆の威力調査をまとめた報告書や、731部隊の研究データをアメリカとの取引に使い、731部隊員は戦犯免責されました。

戦後、日本はアメリカの設置したABCC(原爆傷害調査委員会)に協力し、ビキニ水爆実験では被害を過少に評価し、原発の推進に進みました。

その後の公害問題や薬害問題、事あるごとに、元731部隊員の影が見え隠れします。

今一度、この機会に、日本の医学の戦前・戦後をご一緒に振り返ってみませんか？

●パネル展—アミダステーション1階(展示)、2階ビデオ上映(ビキニ事件、水俣、イタイイタイ病等)

連続講演のご案内

ビデオ上映予定

●加藤哲郎講演会(一橋大学名誉教授)

11月16日(火) 18:20~(開始予定)

「新型コロナ・パンデミックと731部隊・100部隊の影」

会場:クリエイトホール11階の視聴覚室(定員72名)

資料代500円

●森川聖詩講演会(神奈川県原爆被災者の会二世・三世支部)

11月17日(水) 18:20~(開始予定)

「核なき未来へ 被爆二世からのメッセージ」

会場:クリエイトホール11階の視聴覚室(定員72名)

資料代500円

